

事業番号	15 05 01	事業改善シート (31年度実施事業分)	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局
		課・室	教学指導課
		実施期間	H30 ~
		E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保	
	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり		

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	・グローバル化が急速に進展し、不確実性を特徴とする社会を生き抜くために求められる課題発見力、課題解決力、発信力、異文化理解・協働力、創造力等のいわゆる「21世紀型学力」を、新学習指導要領(2018年3月告示)の内容及び方向性を踏まえ、「探究的な学び」により様々な場面において育成していく必要がある。	31年度 予算額	446,709 千円
目指す姿	・多様な学びの場、協働学習・PBL・高校間連携・高大連携等の学びの仕組みを通じて、いわゆる「21世紀型学力」が育成され、すべての生徒が「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働的に学ぶ態度」をバランスよく身に付けることを保障する。 ・希望する進路実現に必要とされる「確かな学力」、「生きる力」を身に付けるとともに、グローバルに考え世界及び地域で活躍する意識を持つことができる生徒を育成する。 (主な実施内容: 科学教育推進事業、学力向上推進事業、キャリア教育推進事業、グローバル人材育成事業 など)	職員数	13.00 人

区分(単位:千円)	29年度	30年度	31要求	31予算案	指標及びその達成状況								
					No	成果指標	29年度末	30年度末(見込)	31年度				
事業 コスト	前年度繰越	0	0										
	当初予算	420,346	409,871	454,845	446,709	1	グローバル・社会・ビジネス等の課題に係る大会・コンクールへの参加者数	-	集計中	5%			
	補正予算	0	1,468										
	合計(A)	420,346	411,339	454,845	446,709								
Aの 財源	一般財源	322,718	324,133	333,315	322,239								
	県債	0	0	0	0	2	海外への留学生率(高校生)	0.92%	0.98%	1%			
	国庫支出金	73,084	56,932	61,281	64,221								
	その他	24,544	30,274	60,249	60,249								
決算額(B)	970,746					3	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の上位4分の1に入る本県生徒の割合(高2)	-	集計中	25%			
概算 人員 費	職員数(人)	12	12	13	13								
	概算 人員 費	概算人員費(C)	97,224	97,224	105,326	105,326	4	基礎学力に係る測定ツールにおいて全国の下位4分の1に入る本県生徒の割合(高2)	-	集計中	25%		
概算 事業費 (B(A)+C)	1,067,970	508,563	560,171	552,035									

成果指標 設定理由	1:「探究的な学び」に取り組む中で、学びの成果、明らかになった考えや意見をまとめて発表することが重要であり、主体的な取組の成果と掘りや測る指標として適切であると考えられるため。 2:第3次長野県教育振興基本計画の中でも成果指標として掲げられており、児童・生徒の学力を向上させるための指標として適切であると考えられるため。 3・4:「高校生のための学びの基礎診断」等による測定ツールによる数値は、生徒の基礎学力定着を見る指標として適切であり、学力経年比較が可能であるため。
--------------	---

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・「信州学」推進事業において、ポータルサイト運営方法を見直したことにより、運営管理費用を減。 ・信州英語教育ルネサンス事業において、国の動向をにらみ、民間資格・検定試験の受験に対する補助費用を減。
--------------	---

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	31年度 実施内容(予定)	職員数(人)	30年度(当初)	31年度	
					(要求)	(予算案)
1	科学教育推進事業	理系人材を育成するため、科学オリンピック養成講座や信州Makersキャンプの開催、学校単位で企画する科学技術分野の国内・海外研修に係る経費の補助などを実施	2.00	29,359	30,000	30,000
2	STEAMプラットフォーム推進事業	外国人大学生や留学経験を持つ日本人大学生とともに、科学的な見方・考え方をベースとして、主体的な探究活動に取り組む研修会を実施	0.50	6,582	5,272	5,272
3	カリキュラム編成支援事業	県立高校において、「主体的・対話的で深い学び」等を実現するために必要な人員を配置し、特色あるカリキュラム編成を支援	1.00	98,881	98,898	98,581
4	学力向上推進事業	新学習指導要領に基づく教育課程の編成及び実施のための協議会や大学入試改革等に対応するための研究協議会などを開催	2.00	21,498	19,801	18,573
5	地域との協働による高校教育改革推進事業	地域ならではの新しい価値を創造する人材や、地域産業をけん引する人材の育成を目指したカリキュラムの構築を推進	1.00	24,508	17,196	17,196
6	「信州学」推進事業	各県立高校における「信州学」の取組み支援や信州学サミットの開催	1.00	6,795	6,342	5,888
7	キャリア教育推進事業	社会的・職業的自立に向けた資質・能力を育むため、年間計画に基づく就業体験活動の推進や職業高校系クラブ等の教科競技大会参加に係る経費を助成	1.00	8,857	5,413	5,378
8	グローバル人材育成事業	グローバル時代に対応できる地域に根ざした人材を育成するため、英語の授業改善や高校生の留学支援などを実施	4.50	213,391	271,923	265,821
合計			13.00	409,871	454,845	446,709